

アクロス福岡情報誌

ACROS

2020
8
August



特集 新イタリア合奏団 with 村治佳織

歴史を彩った名曲たち #29

ベートーヴェンとナポレオン 交響曲 第3番「英雄」

九響プレトーク #5

九州交響楽団のイマを語る！

伝えたい 文化の魅力 NEO No.29

オカリナ奏者 弓場さつき



チケット発売情報

最新のチケット発売情報は
こちらのQRコードからCheck!!



アクロス福岡チケットセンター(10:00~18:00)
☎092-725-9112

好評発売中

9/6 15:00 ストラディヴァリウス・コンサート 2020

会 福岡シンフォニーホール
料 S:¥8,000 A:¥6,000 B:¥4,000
●ヴァイオリン/五嶋 龍、有希・マヌエラ・ヤンケ 他
●曲目/ボッケリーニ:弦楽五重奏曲
バガニニ:ヴェニスの謝肉祭による20の交響曲 他

7月24日(金)発売

8/23 15:00 アクロス弦楽合奏団 第14回定期演奏会

会 福岡シンフォニーホール
料 S:¥3,000 S+P:¥5,000 A:¥2,000 (学生各席¥1,000引き)
●コンサートマスター/景山誠治 他
●曲目/コレリ:合奏協奏曲 第8番「クリスマス協奏曲」
チャイコフスキー:弦楽合奏のためのセレナード 他

8月2日(日)発売

9/25 19:00 新イタリア合奏団 with 村治佳織

会 福岡シンフォニーホール
料 S:¥6,000 A:¥4,000(学生券:¥2,000)
●ギター/村治佳織
●曲目/モリコーネ:映画「ニュー・シネマ・パラダイス」より「愛のテーマ」
ヴィヴァルディ(カンタビレ編曲):ギター協奏曲集「四季」 他

9/30 19:00 チェコ・フィルハーモニー弦楽四重奏団
With 後藤 葵 & 後藤 葉

会 福岡シンフォニーホール
料 全席自由 ¥4,000
●ピアノ/後藤 葵、後藤 葉
●曲目/モーツァルト:ピアノ四重奏曲第2番 変ホ長調 K.493
ブラームス:ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34

お問い合わせ/交通アクセス

お問い合わせ窓口

- アクロス福岡チケットセンター(友の会) (10:00~18:00) ☎Tel.092-725-9112
- 文化観光情報ひろば (10:00~18:00) ☎Tel.092-725-9100
- 施設予約 (10:00~18:00) ☎Tel.092-725-9113

アクロス福岡ホームページURL

<https://www.acros.or.jp>



【地下鉄】天神駅から徒歩5分(16番出口直結)、天神駅から徒歩7分(5番出口)
【西鉄電車】福岡(天神)駅から徒歩10分
【西鉄バス】アクロス福岡・水鏡天満宮前バス停すぐそば

“とくべつ”が集まる、29の専門店。

ACROS SQUARE

地下2階フロア飲食店ご紹介

アクロス福岡
地下2階から地上3階
アクロス商店街
facebookもチェック!





新イタリア合奏団 with 村治佳織



イタリアの名門合奏団と村治佳織が「四季」で共演

イタリアにはさまざまなクラシック音楽のアンサンブルが存在するが、中でもとびきりの腕利きたちを集めたのが「新イタリア合奏団」である。個々の演奏家がある名オーケストラのコンサートマスターなどとして活躍してきた経歴を持ち、ソリストとしても優れている。その上で、磨き抜かれたアンサンブルを作り出し、高度なテクニクを駆使した新鮮な演奏を届けてくれるのである。イタリアの弦楽器奏者の実力の高さを教えてくれるグループだ。

しかも今回の福岡シンフォニーホールでの公演には日本を代表するギタリストである村治佳織も参加して、新イタリア合奏団と共演する。15歳でのCDデビュー以来、村治はギターの世界の楽しさを私たちに伝えてくれる存在だった。彼女を通して初めてギターのレパートリーの豊富さを知ったという音楽ファンも多いだろう。近年では映画音楽を集めた「シネマ」など、個性的なアルバムをリリースして、その音楽の世界をさらに広げている。両者の共演がとても楽しみだ。

さて、このコンサートの演奏曲目だが、モーツァルトの有名な

デヴィエルティメント（日本では喜遊曲と訳されることもある）に始まり、ロッシーニの歌劇「アルジェのイタリア女」の序曲、そしてイタリアの映画音楽の大家エンニオ・モリコーネを代表する作品である「ニュー・シネマ・パラダイス」の「愛のテーマ」と「ミッシェン」からの音楽が演奏される。さらにメンデルスゾーンの10代の作品である「弦楽のための交響曲第10番」、そしてヴィヴァルディの「四季」という豪華なラインナップだ。

モーツァルトのデヴィエルティメントは作曲家の10代の作品だが、当時のイタリアの音楽の影響を受けたものと言われる。快活だが、形式感もしっかりとしており、作曲家の天才性をその音楽の中にあふれさせている。同じ10代で書かれたメンデルスゾーンの「弦楽のための交響曲」と聴き比べてみると、それぞれの作曲家の個性、作曲された時代の違いなどが分かるはず。ロッシーニの歌劇「アルジェのイタリア女」の序曲は、メロディの豊かさ、表現の多彩さなど、作曲家の音楽的アイデアがたっぷり詰まった傑作である。

公演情報

日	9月25日[金]	19:00開演
会場	福岡シンフォニーホール	
料金	S席6,000円 A席4,000円(学生券2,000円)	
曲目	モーツァルト:デヴィエルティメントへ長調 K.138 ロッシーニ(V.Gambaro編曲):歌劇「アルジェのイタリア女」序曲 モリコーネ:映画「ニュー・シネマ・パラダイス」より「愛のテーマ」 映画「ミッシェン」より メンデルスゾーン:弦楽のための交響曲 第10番 口短調 ヴィヴァルディ(カンタルビ編曲):ギター協奏曲集「四季」	

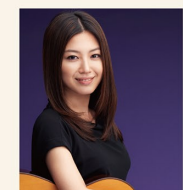
モリコーネの作品とヴィヴァルディの「四季」にはギターの村治が加わる。「四季」では、ギターがどんな風にアンサンブルに加わるかなど、興味が尽きない。滅多に聴くことができない新イタリア合奏団と村治の共演に今から心はずむ。

出演者インタビュー

ギタリスト

村治佳織

村治さんは映画音楽集であるアルバム「シネマ」をリリースされています。今回披露するモリコーネの映画音楽の魅力についてお聞かせください。



モリコーネの映画音楽のひとつの魅力は見事な映像との融合ではないでしょうか。いくら映像が美しく演技が素晴らしいでも、音楽無しでは完成しないですね。映画の内容を深く把握し、また時間をかけて音楽を作り、レコーディングも丁寧に、そのように手間暇をかけた音楽は、今回のように音楽のみ取り出したとしても、聴き手の方の脳裏にくっきりと映像が浮かんだり、心の深い部分に届くものがあると思います。

新イタリア合奏団得意のヴィヴァルディ「四季」。ギター協奏曲版大変楽しみです。ギターならではの聴き所をお教えください。

私もギタリスト人生で、ヴィヴァルディの四季を演奏することになるとは、お話をいただくまで想像もしていませんでした。ただ、元々、編曲作品を演奏することは多いですし、以前もバッハのチェンバロ協奏曲を取り上げたこともあり、今回のように無理難題とは思いませんでした。このような名曲をヴィヴァルディが生活した地を拠点にして活動されているアンサンブルの皆さまと演奏できることが本当に嬉しいですね。ギターが浮き立つというより、撥弦楽器であるギターと弓を使って演奏される、ヴァイオリンをはじめとする弦楽器の響きが溶け合うことを目指したいと思っています。ファーストヴァイオリンの方との掛け合いのような部分もところどころ

ありますので、その部分は音での会話を楽しみたいですね。ギターの奏法は、撥弦の意味では打楽器の要素もヴィブラートを効かせたりできる弦楽器の要素も両方持ち合わせるところが魅力です。ヴィヴァルディが生きていた時代には今の形のギターはまだなかったですが、もし生きていたらお聴きいただいたらギター協奏曲も作ってみたい！と思っています。ただ、天国のヴィヴァルディさんにプレゼンテーションしたいです(笑)。

アクロス福岡シンフォニーホールへは2013年以降の登場です。ホールの印象はいかがですか？

この時を待っておりまして！コンサート当日、楽屋入りをする際は、思わずただいま！と心の中で言ってしまうのではないですか(笑)。というのも、いつの頃からかステージは私にとって第二のふるさとという感覚があるんです。アクロス福岡さんではソロはもちろん、デュオやコラボなど色々な形で演奏させていただいております。音も響きも豊か、そしてすっきりと気持ちの良い広さが目の前に広がるあの感覚も大好きです。

最後に、福岡のお客さまへメッセージをお願いいたします。

デビューする前にも演奏させていただいたことがある福岡は、機会さえあればいつでも住める！と感じたことがあったほど福岡の街が大好きです。今回、コンサートのためにまた伺えることになり心より嬉しく思っております。何度か、お聴きいただいている方はじめてお聴きいただく方、会場すべての皆さまに良い音楽をお届けできるよう、今、を大切に準備をしております。その日までどうぞ皆さまもお元気で過ごしてくださいませ。

8/5 **アクロス・音楽学び塾「もっと近くに! Bach」シリーズ**C
文化

今年始動の音楽学び塾。音楽の父「バッハ」について知識を豊かにする90分!

ヨハン・ゼバスティアン・バッハは、1723年にライプツィヒのトーマス教会のカントル(音楽監督)に任命されました。その職務の一つは毎週日曜日の礼拝のためのカンタータを作曲し演奏することでした。これは大変な激務で、作曲後には、演奏のための写譜に一家総出で取り組んでいたといわれています。彼は1727年に「マタイ受難曲」を作曲しました。きっとこれも一家総出で写譜に取り組んだのでしょうか、9年後の1736年に彼自身が浄書を行いました。右の写真がその最後のページです。一番下にうっすらとSDGの文字を読むことができます。これは、S(oli) D(eo) G(loria) で、「ただ神にのみ栄光」という意味で、彼は作品を書き上げると、この文字を記していたといわれています。



- 🏠 円形ホール
- 🕒 19:00開演
- 💰 受講料500円(要事前申込)
- 👤 講師/梅津孝(福岡大学非常勤講師)
- ⚠️ ライプツィヒのバッハ〜「マタイ受難曲」の周辺、バッハの信仰

ACROS Fukuoka

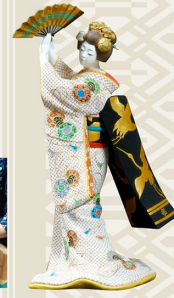
匠ギャラリー

匠の技と伝統にふれるひととき...

福岡県の
伝統工芸品を
常設展示

2F









プロの職人による制作実演や
工芸品の制作体験を週替わりでお楽しみいただけます。

時間 10:00~18:00 [年末年始休館]
※展示品の入れ替えに伴い、ご入館いただけない場合があります。詳細はお問い合わせください。
アクロス福岡文化観光情報ひろば
Tel.092-725-9100

今月の おすすめ イベント

Music & Culture
Must-see events8/23 **アクロス弦楽合奏団 第14回定期演奏会**M
音楽

そうそうたるメンバーにより受け継がれ、熟成されたサウンドをお聞き逃しなく!

アクロス弦楽合奏団は、地元九州の演奏家だけでなく、NHK交響楽団や日本フィルハーモニー交響楽団などさまざまなオーケストラのトップ奏者で編成されています。8月の定期演奏会に向けて、本番前の1週間、全員が福岡に滞在しながら音楽を創り上げていきます。リハーサル室はメンバーの笑い声にあふれ、たくさんの音が重なり合い、まるで音楽の泉に在るかのようです。

合奏団の顔触れは固定ではなく、フレキシブルに入れ替わります。当初若手と言われていた奏者も、今や中核メンバーとなり、新たに加わる若手の指導を買って出ます。こうすることでアクロス弦楽合奏団のサウンドも歴代メンバーが次世代に引き継ぎながら進化を遂げ、音色に豊かさや深みを増しています。

ここ数年、プログラムに小編成の協奏曲を取り上げることが多くなりました。その曲は若手メンバーを中心に編成し、先輩奏者らにアドバイスを受けるながら、さらに生き生きとした音楽に生まれ変わっていきます。

あるメンバーが以前こう話していました。「1週間もかけて、こんなに集中して楽しく濃密な音楽を練り上げる機会はなかなかないよ」。じつくと納得のいくまでアンサンブルを重ねる、これこそがアクロス弦楽合奏団の1番の強みなのではないかと感じています。

この夏、国内トップクラスの演奏を存分に味わってみませんか。



- 🏠 福岡シンフォニーホール
- 🕒 15:00開演
- 💰 S席3,000円 S席ペア券5,000円
A席2,000円 (学生各席1,000円引き)
- 👤 景山誠治(コンサートマスター)ほか
- 🎵 コレリ:合奏協奏曲 第8番「クリスマス協奏曲」
テレマン:4つのヴァイオリンのための協奏曲
ハイドン:チェロ協奏曲 第1番
チャイコフスキー:弦楽合奏のためのセレナード



お知らせ

アクロス・フロアコンサートの開催自粛について

毎月第1・第3木曜日に1階コミュニケーションエリアにて実施していた「アクロス・フロアコンサート」ですが、新型コロナウイルス感染症への感染防止のため、当面の間開催を自粛させていただきます。楽しみにしていただいていた皆さまには誠に申し訳ございませんが、どうかご理解をお願いいたします。再開が決まり次第、当情報誌やアクロス福岡ホームページ上にて発表させていただきます。



コミュニケーションエリア 1階

10:00～18:00(最終日16:00まで)

市町村、学校、文化団体などの作品展やイベントPR等企画展を開催しています。



7/27(月) ▶ 8/2(日)

福岡共同公文書館パネル展 「ふくおか スポーツの軌跡」

福岡県ゆかりのオリンピックメダリストや懐かしい「とびうめ国体」の写真など、福岡県を舞台としたスポーツの軌跡をパネルでご紹介します。(14点展示)



主催 福岡共同公文書館

8/3(月) ▶ 8/9(日)

『再び、阿蘇へ』 【熊本・阿蘇観光PR】

熊本地震で被災し不通となっているJR豊肥線(阿蘇方面)への運行再開(8月予定)により、お出かけが便利になる熊本・阿蘇地域の魅力を、パネルや動画でご紹介します。(約14点展示)



主催 熊本県福岡事務所

8/17(月) ▶ 8/23(日)

九州産業大学付属九州高等学校 造形芸術科授業作品展

2019年12月に福岡県立美術館で行った令和元年度授業作品展より、絵画・版画・写真・デザインなどの平面作品を展示します。造形芸術科の生徒たちの若さあふれる作品をぜひご覧ください。(12点展示)



主催 九州高等学校

8/24(月) ▶ 8/30(日)

おんせん県おおいた写真展

県内各市町村の美しい景観や伝統文化、お祭りなど、おんせん県おoitの魅力を写真パネルやポスターでご紹介します。(約20点展示)



主催 大分県福岡事務所

8/31(月) ▶ 9/6(日)

「いいね!」のまち大野城

交通アクセスの良さ、都会と田舎のバランス、「おおの山城大文字まつり」など、皆さんに「いいね!」と感じてもらえる大野城市の特徴やイベントなどをご紹介します。(約20点展示)



主催 大野城市ふるさとにぎわい課

メッセージホワイエ 2階

10:00～18:00(最終日16:00まで)

開催初日は搬入のため、開場時間の遅れが多少生じることがあります。個人やグループの絵画、写真など、壁面を利用した作品展を週替わりで開催しています。



8/3(月) ▶ 8/9(日)

Lokahi Lani Hawaiian Ribbon Leis ～ One of the Hawaiian culture ～

ハワイの文化のひとつである“Lei”をリボンやヤーンなどで表現しています。ハワイの神話をもとにデザインしたレイなど、約60点の作品を展示します。ハワイの魅力にふれてみませんか?



体験 ハワイアンリボンクラフト 800円～1,000円
11:00～15:30(最終日14:00まで)

主催 Yukiko Lokahi Lani

8/10(月・祝) ▶ 8/16(日)

グループどんぐり 水彩画展

透明水彩画が好きな者同士で楽しく描いています。今回は花や果物、人物、風景などの作品約20点を展示します。6人の仲間たちの個性豊かな作品をどうぞご覧ください。



主催 グループどんぐり

8/17(月) ▶ 8/23(日)

第2回篠栗写真クラブ アクロス福岡作品展

クラブ創立8周年を迎え、研鑽を積んできた会員一同の成果をご覧いただきたく写真展を開催します。風景や花、人物、祭りなど、瞬間をとらえた作品24点を展示します。

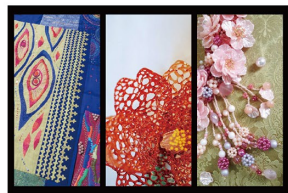


主催 篠栗写真クラブ

8/24(月) ▶ 8/30(日)

3人の作家による キラッと展

ビーズ作家、ガラス作家、刺繍作家による3人展です。華やかなビーズアクセサリーや緻密なガラス工芸、色あざやかな刺繍など、約30点の作品を展示します。



主催 Eri-kari

8/31(月) ▶ 9/6(日)

吉田勇輔 油彩画展

日ごろ目にする風景や静物など、身近なものを変形50号(117×34矩形)画面に表現しました。12点の具象画作品を展示します。



主催 吉田勇輔

匠ギャラリー

2階

10:00～18:00

(初日12:00から最終日16:00まで)

展示販売



8/31(月) ▶ 9/6(日)

阿部眞士作陶展

実演 色絵の絵付け 11:00～15:00

主催 祐工窯 阿部眞士(北九州市八幡東区)

磁器の“白の魅力”があふれた作陶展

北九州市八幡西区の山中、自然の中で祐工窯を構える阿部眞士さん。阿部さんのお父さまの祐工さんが立ち上げた窯元を継いでいます。小学生のころから、お父さまの指導の下、陶器作りを手伝い、20代前半には登り窯を焼けるようになっていたそうです。阿部さんは「オブジェや展示して見てもらうものに興味を持ち」、大学で写真を専攻しましたが、やはり作陶の魅力は大きく、卒業後はお父さまの勧めで白磁の第一人者・瀧田項一さんに師事し、福島県会津若松で3年間修行を積みしました。

その後、再び祐工窯でお父さまに学びながら、磁器の制作に取り組み現在に至っています。

その魅力を「とにかく白の美しさです。そして、手工芸で制作できること」とのこと。薪窯で磁器を焼くと、白い器に灰が落ち、商品の価値が下がる場合もあり、電気とガスの併用窯で焼くことが多いそうです。それでも「いつの日か、登り窯で磁器を焼いてみたいです」と阿部さん。

毎年全国各地で5～6回の展示会を阿部さんは開催しているそうです。「匠ギャラリー」での展示会をようやく開催できることになり、すごく楽しみにしています。今回、茶碗や湯飲みをはじめ、皿、中鉢、大鉢など100点以上の作品を展示・販売します。

7/27(月) ▶ 8/2(日)

筑豊のものづくり三人展

体験 ハンコ作り(ガラス・陶器・木が選べます) 1,500円

主催 吹きガラス工房琥珀 斉藤達也(嘉麻市牛隈)

8/4(火) ▶ 8/9(日) ※初日10:00から

新博多人形インテリア展

体験 博多人形の絵付け 1,000円 主催 博多人形商業協同組合(福岡市博多区)



8/10(月・祝) ▶ 8/16(日)

楽しいガラスのカタチ展

体験 とんぼ玉のアクセサリー作り 700円～1,200円 主催 Glass atelier Lin 山崎香奈子(宗像市自由ヶ丘)



8/17(月) ▶ 8/23(日)

炎の芸術マルチグラスの世界展

体験 ジェルキャンドル作り 1,400円 10:30～17:00 主催 (有)マルチグラス(福津市宮司)



8/24(月) ▶ 8/30(日)

福岡県工芸作家手仕事展～暮らしを繋ぐ6の手～

体験 6寸皿絵付け 1,500円 ※作品は、焼成後着払いにてご自宅にお送りします。

主催 まるた窯 太田剛速(朝倉郡東峰村)



匠ギャラリーでは、週替わりで行う企画展のほか、福岡県の国・県指定の伝統工芸品も常設で展示しています。社会科見学も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。



アクロス福岡公式Instagram @acros_fukuoka

匠ギャラリー企画展の作品やイベント情報などを紹介しています。気軽にフォロー＆いいね!してくださいね♪

1階 円形ホール

開催日 & 時間	催し物	内容	入場料 & お問い合わせ
8/5(水) 19:00～20:30	アクロス・音楽学び塾 「もっと近くに! Bach」シリーズ	まだまだ知らないことがたくさん! 音楽の父バッハを学んでみませんか? 講師/梅津敦孝(福岡大学非常勤講師) テーマ/ライプツィヒのバッハ～「マタイ受難曲」の周辺 (詳細はP5をご覧ください)	受講料:¥500(要事前申込・先着100名) アクロス福岡文化観光情報ひろは ④ Tel.092-725-9100
21(金) 14:00	九響 目からウロコ!?のクラシック講座	9月19日(土)開催の第388回定期演奏会で演奏するマーラー:交響曲第2番「復活」の聴きどころについて、西田結子先生(九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)にお話をいただきます。	入場無料(先着100名様) 九州交響楽団事務局 Tel.092-822-8855
22(土) 14:00～16:00	シンジエ演歌ショー 「渡る世間に鬼はなし」	新曲「渡る世間に鬼はなし」、名曲「母に捧げる歌」を披露。 「ひばりの渡り鳥だよ」「長崎シャンソン」「船頭可愛いや」「君の名は」 他	¥2,000(当日¥500UP) シンジエ会 Tel.092-710-7411(麻生)
25(火) 19:00～21:00	桂まん我の落語を聴く会 ～桂まん我ひとり会～	NHK新人演芸大賞、文化庁芸術祭新人賞受賞の新進気鋭の落語家「桂まん我」の落語会。落語がはじめての方からツウの方まで楽しめます。	全席自由 ¥3,000(当日¥500UP) 落語会事務局 Tel.070-5346-1753
29(土) 16:00～18:00	ダン石田とニューブリッコ 8月公演	昭和アイドル曲専門のビッグバンド。山口百恵、松田聖子など70～80年代の名曲を昔のままの生演奏、生歌唱で再現します。	全席自由 ¥2,000 (一社)ダンミュージックプロダクション Tel.090-7397-3615

※このスケジュールは、2020年6月18日現在の情報です。諸事情により記載内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 ※施設利用お問い合わせ (10:00～18:00) Tel.092-725-9113

ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート鑑賞チケット代込
ウィーン・フィル ニューイヤー コンサート
ウィーン6・7日間 (東京発・大阪発)
2020年12月29日(火)出発
旅行代金…7月頃に発表予定 ※チケットの席割は先着順になります。

1月1日 ～楽友協会(大ホール)～
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
指揮: R.ムーティ 曲目: 未定

※上記公演のほか、◆ウィーン国立歌劇場 J.シュトラウス(こどもり)
◆コンツェルト・ハウス「ウィーン交響楽団」(第9)コンサートなども鑑賞可能です。(別料金)

※燃油サーチャージ、成田または羽田空港使用料・保安サービス料および現地空港諸税が別途必要となります。

第18回 ショパン国際ピアノコンクール2021
【Aコース】(1次予選(前半3日間))鑑賞7日間
2021年10月1日(金)出発 **ワルシャワ5泊**
旅行代金…7月頃に発表予定

10月3日・10月4日・10月5日 / 午前の部・午後の部
～フィルハーモニーホール～
ショパン国際ピアノコンクール
《1次予選》鑑賞

***上記以外に、《2次予選》《3次予選》《本選》および《入賞者コンサート》鑑賞コースもご紹介します。詳細はお問い合わせください。**

～上記のほかにも多数のツアーがございます。お問合せください。～
●音楽・美術ツアーデスク 受付:(月)～(金)10:00～17:00 旅行企画・実施 **船舶トラベル株式会社**
0120-319-105 FAX.03-5213-8494 〒101-8422 東京都千代田区神田神保町2-2(波多野ビル)

1階 福岡シンフォニーホール

開催日 & 時間	催し物	内容	入場料 & お問い合わせ
8/8(土) 15:00	九州交響楽団 真夏の〈三大交響曲〉	指揮/秋山和慶 曲目/シューベルト:交響曲 第7番 口短調 D759「未完成」 ベートーヴェン:交響曲 第5番 八短調 作品67「運命」 ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 作品95「新世界より」	S席:¥6,000 A席:¥5,000 B席:¥4,000 学生席:¥1,500 九響チケットサービス Tel.092-823-0101
16(日) 13:00～20:00	12th音の夢ピアノコンクール 鳥栖ピアノステップ受賞コンサート	2019年度に開催された当コンクールの優秀な成績を収めた方のピアノ演奏です。室内楽の演奏もあります。	全席自由 一般:¥1,000 小学生以下:¥500 音の夢ピアノコンクール・鳥栖ピアノステップ実行委員会 Tel.0942-83-7062
23(日) 15:00	アクロス弦楽合奏団 第14回定期演奏会	コンサートマスター/景山誠治 他 曲目/コレツリ:合奏協奏曲 第8番 テレマシ:4つのヴァイオリンのための協奏曲 ハイドン:チェロ協奏曲 第1番 チャイコフスキー:弦楽合奏のためのセレナード (詳細はP4をご覧ください)	S席:¥3,000 S席ペア券:¥5,000 A席:¥2,000 (学生各席¥1,000引き) アクロス福岡チケットセンター Tel.092-725-9112 ④

地下 2階 イベントホール

開催日 & 時間	催し物	内容	入場料 & お問い合わせ
8/1(土) ①11:00 ②14:00	アクロスちびっこコンサート2020 こどものためのオペラ 「花咲かじいさん」 開催中止	指揮/大川修司 演出/唐谷裕子 出演/西日本オペラ協会「コンセルビエール」 ピアノ/大森美樹、櫻元 圭 打楽器/岩崎雅子、小野香織	全席自由 子ども(3歳～小学生):¥500 大人(中学生以上):¥2,000 ※2歳以下無料 アクロス福岡チケットセンター Tel.092-725-9112 ④
5(水) 11:00～16:00	キャリアタス就活フォーラム 福岡会場	2021年卒業予定者と既卒3年以内の方を対象とした合同企業説明会です。	入場無料 キャリアタス就活フォーラム 事務局 Tel.092-473-3392
18(火) 12:00～17:00	UIターン就職支援合同会社説明会	50社が集う若者の就職を目的とした合同会社説明会です。「福岡で暮らしたい!」というみなさんの来場をお待ちしています。	入場無料 福岡県若者就職支援センター Tel.092-720-8832
23(日) ①13:00 ②17:00	ドラゴンゲートプロレス 一博多大会	華麗でアクロバティックな技の数々、めまぐるしい攻防戦。 子どもから大人まで幅広い層が楽しめる新感覚プロレス!!	特別RS席:¥7,700 RS席:¥6,600 指定席A:¥5,500 指定席B:¥4,400 DRAGONGATE(株) Tel.078-747-3410 ✉ ticket-info@dg-pro.jp

アクロス福岡チケットセンター取扱 (Tel.092-725-9112) 託児サービスがあります。ご利用方法は、問い合わせ先にお尋ねください。 ④ (公財)アクロス福岡主催・共催・協賛・協力事業

2階 セミナー室2

開催日 & 時間	催し物	内容	入場料 & お問い合わせ
8/5(水) 14:00～15:30	歴史講座「福岡地方史を訪ねて」	テーマ／吉田家伝説を読む 講師／石渡豊美(福岡地方史研究会 会長) ※4月15日分替替	¥700 (公財) 雲山顕彰会 福岡県支部 Tel.092-771-4905
7(金) ①10:30～12:00 ②13:00～14:30	①県民文化大学講座 ～中国古典の名文を読む～ ②県民ふるさと文化講座 ～九州の城と城主の志を知る～	①テーマ／張載(横渠)「1020～1077」[西銘] 講師／定田啓佑氏(福岡女子大学 名誉教授) ②「立花宗茂・蘭干代 大河ドラマ化応援企画」 テーマ／中津城と宇都宮領房 講師／矢野寛治(矢野寛々房 代表)	各回¥1,000 (公財) 福岡県文化団体連合会 Tel.092-643-2875
11(火) 14:00～15:00	食育の推進実践セミナー	「栄養の日・栄養週間」記念講演 講師／(公社)福岡県栄養士会 会長 大部正代	入場無料 (公社)福岡県栄養士会 Tel.092-631-1160
12(水) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30	「日本書紀」編纂 1300年記念講座 「神武天皇伝承への挑戦」	北部九州の足跡Ⅰ 講師／河村哲夫氏(歴史作家・ふくおかアジア文化塾代表)	各回¥1,500(資料代) ふくおかアジア文化塾事務局 Tel.090-2516-2274(緒方)
26(水) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30	「日本書紀」編纂 1300年記念講座 「神武天皇伝承への挑戦」	北部九州の足跡Ⅱ 講師／河村哲夫氏(歴史作家・ふくおかアジア文化塾代表)	各回¥1,500(資料代) ふくおかアジア文化塾事務局 Tel.090-2516-2274(緒方)

※このスケジュールは、2020年6月18日現在の情報です。諸事情により記載内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 ※施設利用お問い合わせ (10:00～18:00) Tel.092-725-9113

おでかけナビ

～九州・山口の文化イベント、文化施設の便利なポータルサイト～

- 音楽・アートイベントなどをサッと検索
- イベント情報を手軽に発信

詳しくはこちらから [アクロスおでかけナビ](#) 検索 www.acros-info.jp

おでかけナビ de イベント検索 × イベントPR

2階 セミナー室1

開催日 & 時間	催し物	内容	入場料 & お問い合わせ
8/5(水)・23(日) 13:30～15:00	茶花教室	季節の野の花で、茶室の床の間から暮らしの空間まで広い範囲の現代の茶花を楽しめます。	入場無料 五葉会 Tel.0952-23-3413
22(土) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00	草心流 野の花いけ花教室	月に1回、南阿蘇の草心流野草園で育った野の花を使って、季節感たっぷりのいけ花を楽しんでいます。自然の花をお家に取り入れてリラックスしてみませんか。	体験可(要予約)・見学自由 草心流 板垣草人 Tel.090-8510-4220
25(火) 10:00～16:00	シオザワ友禅／アクロス福岡教室	友禅という伝統の技を今の生活に取り入れてみませんか。あなたらしい染めを楽しみましょう。	入場無料(見学可・入学随時) 田中 Tel.092-926-7152

音楽に出会う

音楽をはじめる、楽しむ、選ぶ♪

『アクロス福岡』地下1階の総合楽器店

ピアノ・エレクトーン・電子ピアノ・キーボード・
管楽器・弦楽器などを多数展示、ご試奏いただけます。
楽器周辺小物、楽譜・音楽雑誌も充実の品揃えです。
管楽器修理・ピアノ調律・防音室相談も承っており、
楽器ご購入後も安心サポート。

※営業時間の変更、臨時休業などは当ホームページでご案内いたします
※各種イベントは予告なく変更・休止・終了する場合がございます

YAMAHA

Make Waves

電気楽器部 | ピアノ・電子ピアノ | 録音コーナー | クラウドミュージック試聴室

(株)ヤマハミュージックリテイリング 福岡店
福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡 B1F
営業時間 11:00～19:30(土日祝10:30～19:30) 定休日 火曜日 TEL 092-721-7621

福岡シンフォニーホール

円形ホール

コンサート・展示会・講演会など
天神で会場をお探しなら
地下鉄天神駅直結！アクロス福岡
全28会場 空室検索、ご予約はWEBで！

アクロス福岡 検索 24時間受付

お問い合わせ先 (公財) アクロス福岡 施設サービスグループ
受付時間 10:00～18:00 TEL 092-725-9113



深澤 功



野下直樹

九響パレトーク #5

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、九州交響楽団は、今年2月から約4ヶ月に亘って演奏活動ができていません。今回は、公演開催の目処がたたない5月半ば時点での取り組みや思いを、番外編(事務局スタッフによる対談)でお届けします。

【対談者】九州交響楽団音楽主幹 深澤 功 × 同団事務局長 野下直樹

深澤:16年ぶりの東京公演だけでなく、リニューアルでお届けするはずだったこどもコンサートや吹奏楽に打ち込んでいる学生たちとの初めてのジョイントコンサート、世界的なアーティストと共演を予定していた鹿児島公演...特に思い入れが強かった3月の公演をすべて中止せざるを得なかったというのは、本当に辛かった。それでも年度が変われば公演ができるだろうって漠然と思っていたんですよ。

野下:オーケストラは、それ自体が「密」で成り立っていますから、コロナ禍で仕方がないことであるとはいえ、まさか、こんなに長く演奏会ができなくなるとは。

深澤:そんな中、寄付を受け付ける仕組みが整えられました。

野下:払い戻しをしていく中で、チケット代は戻さなくていいから九響のために使ってほしいという声がファンの方々から幾つもあがってきたんです。それは本当にありがたかった。「九響後援会」という支援の仕組みとは別に、「応援したい」というお客さまのお気持ちを受け止める体制を早急に整える必要がありました。既に「コンサート会員になる」という形で九響を応援してくださっている方々や、県外や海外の方からもお申込をいただいている、多くはそこにメッセージが添えられています。公演でお客さまにお会いできない状況が続いてはいますが、

寄付を通して九響ファンの声をひひしと感じる毎日です。

深澤:本当にありがたいですね。演奏活動できていない間もそのような形で応援してくださるファンの皆さんのためにも、一刻も早く公演を再開したい。シーズンプログラムに関していえば、吟味に吟味を重ねてプログラミングし準備しているものですから、できる限り中止せず皆さんに聴いていただきたいという思いで今のところ全て「延期」としています。

野下:プログラムを決められる時は、季節感なども考慮されてのことでしょうか、延期の選択も一筋縄ではいきませんね。

深澤:まさにそうですね。例えば第387回定期演奏会は、博多の夏をイメージして作曲を委嘱した新作の世界初演を予定しています。「山笠」の「追い山」が終わった後のタイミングで演奏、っていうのは、世界中にオーケストラがある中で九響だけのオリジナル。街のオーケストラの醍醐味です。予定どおり公演を開催して、今年は中止となった山笠の分まで、博多の夏を楽しむ時間を皆で過ごしたいですね。

野下:はい。皆さんと再び福岡シンフォニーホールで感動を分かち合える日まで、一人一人が責任ある行動をとって、まずは健康第一ですね!

※本対談は、5月に実施したものです。

聴きに行こう!

九州交響楽団 第387回定期演奏会
戦後75年へI 邦人作曲家選～戦後から現在まで

7月17日 金 19:00開演
福岡シンフォニーホール

S席5,700円 A席4,700円 B席3,600円(学生1,500円)

ベートーヴェン:「エグモント」序曲
矢代秋雄:ピアノ協奏曲
小出稚子:博多ラプソディ(委嘱作品)★世界初演

アクロス福岡チケットセンターにて好評発売中!



©Muro Borgego

指揮/鈴木優人



ベートーヴェンは民衆の英雄としてナポレオンを賛美していた。それを象徴するのがこの「交響曲第3番」で、ベートーヴェンはこの作品をナポレオンに献呈しようとしていた。ベートーヴェンがナポレオンの存在を身近に感じたのは、1798年、フランスの代表的なヴァイオリン奏者で作曲家のロドルフ・クロイツェルが、ナポレオン配下のベルナドットとともにベートーヴェンを訪問した時であった。この頃からベートーヴェンはフランスを強く意識するようになり、クロイツェルに「ヴァイオリン・ソナタ第9番」を献呈することになる。

このような経緯から完成された交響曲の自筆譜に最初に記されたタイトルは「ボナパルト」(ナポレオンの名前)であった。ところが1804年5月、ナポレオンが皇帝ナポレオン1世として即位したことを知ると、民衆の英雄と想っていたナポレオンは権力の権化であるとして彼は激怒し、献辞を削り落として改めて「シンフォニア・エロイカ(イタリヤ語で「英雄交響曲」)ある英雄の思い出のために」という言葉を表紙に記した。

しかし、ナポレオンへの思いが消えたわけではない。1809年、ナポレオンの弟ジェロームがドイツのヴェストファーレンの国王に就任すると、ベートーヴェンに楽長就任を要請し、ベートーヴェンは受諾している。ベートーヴェンはこっそりとウィーンを離れようとしたがこの事実が明るみになり、ロドルフ大公らが4000フロリンの年金を支給することでウィーンにとどまることになる。そして同年、ナポレオンはウィーンに侵攻する。ベートーヴェンの心のなかでナポレオンが消えたのはやっとこの時であった。



©Muro Borgego

歴史を彩った名曲たち #29

ベートーヴェンとナポレオン 交響曲 第3番「英雄」

次号予告/ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」

西原 稔

山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士課程満期修了。現在、桐朋学園大学特別招聘教授。18世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。

『音楽家の社会史』『シューマン 全ピアノ作品の研究』上下(エニジック・ペン)刊。『音楽家賞』、『フランク』名曲を生んだ恋物語(『フランク』をわが世界史などの書籍などがある。

大切なお知らせとお願い

アクロス福岡は今年4月で開館25周年を迎えることができました。
これもひとえにアクロスを支え、応援していただいた皆さまのおかげと、心よりお礼申しあげます。
大切なお知らせとお願いがございます。

お知らせ

福岡シンフォニーホールおよび国際会議場の長期休館について

福岡シンフォニーホールおよび国際会議場のご利用をいたたくうえでの安全性向上のため、天井の耐震改修および各種設備の更新工事を予定しています。
この工事の実施に伴い、以下の期間(予定)に各会場を休館いたします。利用者の皆さまには、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■福岡シンフォニーホール

2021年8月1日～2022年9月30日 14ヵ月間

■国際会議場

2022年3月1日～2022年9月30日 7ヵ月間

※イベントホールほかの貸出施設につきましては通常通り開館しております。なお、休館期間が変更になった場合は、ホームページなどでお知らせいたします。

友の会取り扱い変更について

福岡シンフォニーホールの長期休館に伴い、休館期間にかかる友の会会員の更新(継続)並びに新規入会受付の取り扱いを、以下の通り中止させていただきます。利用者の皆さまには、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、アクロス福岡では25周年を機に、より多くの皆さまに足を運んでいただけるよう友の会の見直しを図り、長期休館明けとなる2022年から新たな制度をスタートさせる予定としております。

■友の会 更新・新規入会受付停止：2020年9月1日～

お願い

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みについて

- ・アクロス福岡では新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みを行っています。
- ・マスク着用をお願いします。マスク未着用のお客さまの窓口へのご来館はお断りいたします。
- ・発熱や風邪症状(せき・のどの痛みなど)がある方、体調がすぐれない方は窓口へのご来館をお控えください。
- ・体温が37.5℃以上のお客さまの窓口へのご来館はお断りいたします。検温にご協力ください。
- ・人と人との十分な間隔をあげるようご留意ください。
- ・窓口や入口に消毒液を設置いたしておりますので、適時手指の消毒をお願いいたします。
- ・その他、感染拡大防止に関して協力をお願いすることがありますのでご了承ください。

ご来館いただく皆さまには、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※当財団が貸出を行っております施設のご利用にあたっては、ホームページの「ニュース&トピックス」をご確認ください。
※2020年6月1日現在の情報です。諸事情により記載内容が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※主催者の希望または作成日の関係等により本誌に掲載していないイベントもあります。また諸事情により掲載内容が変更になることがあります。ご了承ください。
※本誌記事・写真・レイアウトなどの無断転載・複製・引用を固くお断りします。



管楽器の祭典
SPECIAL GRAND SALE 2020
期間延長開催中!
九州!

歓迎新入部員! 応援します。若きアーティスト達!!

音楽の力で盛り上げよう

アクセス ●地下鉄 赤坂駅3番出口より150m
●西鉄バス 法務局前より150m



音楽家といつも素敵な関係でいたい
カモノタ音楽
〒810-0041 福岡市中央区大倉2丁目10-24
営業時間/10:00～18:00(日・祭日10:00～18:00)
定休日/水曜日 FAX 092-761-8382
TEL 092-713-5303 (代)

新世代の担い手に会いたい!

伝えたい 文化の 魅力 NEO No.29

オカリナ奏者
弓場さつきさん
Yuba Satsuki

Profile

1991年、福岡市生まれ。10歳よりオカリナを始め、2010年より山梨県に移住し大沢聡氏に弟子入りする。2011年第46回国際芸術連盟新人オーディションで審査員特別賞並びに奨励賞受賞。2013年ファーストアルバム「Strada」を発表。現在は国内外で演奏家・講師として活躍中。



「なぜ他の楽器ではなくてオカリナだったのか」とよく聞かれるんですけど、この楽器に出逢ったきっかけは「となりのトトロ」です。私の名前を見てピンとくる方がいらっしやるかもしれませんが、実は弟の名はかんだ。父が二人の子ともにキャラクターの名を付けるくらい、トトロファンなんです。小さいころから繰り返し作品を観て、作中に出てくるオカリナという見慣れない楽器に憧れを抱き、小学5年生のときに両親に頼んで買ってもらいました。それが最初の出逢いです。早速喜び勇んで、見よう見真似で吹いてみたら、全然音が出ないんです。近所のオカリナ教室で習い始めてからその理由がわかりました。両親がネットで買ったオカリナは、絵付け用のもので音楽を奏でる目的のものではなかったんです(笑)。

そんな笑い話から始まったオカリナとの二人三脚ですが、中学時代は先生と一緒に老人ホームへ慰問演奏に行ったりして、「誰かが喜んでくれること」に何よりも喜びを感じていました。その後高校になるとプロの演奏家である別の先生に出逢い、その方の教えを受けるために大分県まで通うように。このころに真剣に悩んでいたのは、進路についてでした。父が医療系の仕事をしていたこともあり、漠然と高校の医学部進学コースに通っていたのですが、医者になるのかオカリナを選ぶか、日々悩み続けていました。オカリナは音大で学ぶものでもないのに、医学部に進むか高卒でオカリナの修行に入るのかの二択。「オカリナ奏者になれば、自分から世界中

どこへ赴いても仕事ができる、そんな前向きな仕事を天職にしたい」と自分なりの結論を見出して、大学に進学しないことを選んだのですが、その選択が正しいのかどうかの判断もできなくて。周りのクラスメートが受験勉強で目の色が変わっていく中、「オカリナでやっていく」と言うこと自体が恥ずかしいと思うときもありましたね。しかし決意は固く、両親も私が頑固なことを知っていたので半ばあきらめるように許してくれました。高校卒業後は、現在も師と仰ぐ大沢聡氏のもとで修業をするために山梨に移住し、そこで9年間学び、独立して福岡に戻ってきました。

オカリナという「中高年以上の趣味だよね」とか「ヒーリングミュージックでしょう?」等、さまざまなステレオタイプなイメージで語られることが多いようです。確かにそういった側面もありますし、何より土から作られる唯一の楽器なので、人々を癒せる音色を持っていることは間違いないかもしれません。ただし、それだけではない。無限の可能性を秘めているので、世界中の音楽シーンで愛される楽器の一つになるポテンシャルがあると私は思っています。今はクラシックをオカリナで演奏する活動をしているのですが、オーケストラの一部に加わってみたい、管弦を含むさまざまな楽器と一緒に演奏する機会が増えたいと思う音色に小5で出逢えたので、そんな子どもたちを増やせるよう、オカリナ魅力を広く発信し続けていきたいと思っています。

(文)上田瑞穂